組織改革で

事業部長に小野周二氏

広島県配置医薬品連合会

広島県配置医薬品連合会（小畠恒治会長）は、日本置き薬協会広島県支部（門那良三支部長）と合同で新年役員会を一月十五日午後二時から広島市の広島ガーデンパレスで開催し、二十七名が出席した。＝**写真右**＝

冒頭、小畠会長があいさつに立ち、今年六月から改正薬事法が施行されることを伝えた上で「今年はさまざまな対応が求められる年であり、広島県の配置薬業団体としてわれわれは会員が安心して仕事ができるように具体的な行動を起こさねばならず、また変化に対応できる組織でなければいけない」と強調し、一層の協力を要請。

また、今後の活動について、登録販売者や既存業者などに拘らず、全会員で一致団結して進めていく意向であることを示し、理解を求めた。

議事は、①会務報告②会計状況報告③役員について④行事日程について－の四項目を議題として進められた。

①では、昨年末から今年初めにかけて行った事業等を報告。この中では、昨年の中川幸則元副会長の厚生労働大臣表彰受彰と中田勝之副会長の県知事表彰受彰が紹介されたほか、今年一月八日に行った、中川秀直衆議院議員事務所、桧山俊宏、緒方直之両県議会議員、県薬務課等への新年のあいさつ回りなどが伝えられた。

②では、会員の廃業などによって会費の減収は避けられないとの報告があったが、この減収は織り込み済みであり、予算の変更は必要なしとの補足説明が行われた。

③では、組織改革に伴う新たな役員の選任が行われ、事業部長に小野周二氏、同副部長に北渕浩司氏、会計に平野克重氏の就任を発表、了承された。

④では、薬事講習会（六月十一日）、新規配置従事者講習会（二月二日、六月十八日）、研修旅行（二月十五～十六日）などの主な行事日程等が発表された。

このあと、検討事項として▽試験対策研修会▽新法施行説明会▽名札・身分証の発行▽新ホームページ▽法人化－の各事項について審議。

試験対策研修会については、会員の参加を促すため、日曜日開催の方針が示されたほか、講師や教材も見直していくこととした。

新法施行説明会は、二月中旬に広島市中区の県薬剤師会館で開催することとしたが、開催日については決まり次第、会員に連絡することとになっている。

名札・身分証発行については、作成並びに発行は決めたものの、詳細は省令が公示されたあとに改めて検討する。

新ホームページ（http://www.hiro-rengo-okigusuri.jp/）については、小池書記から説明があり、配置従事者身分証明書や配置従事届、登録販売者関係として販売従事登録などの各申請書がダウンロードできるほか、今後は県薬務課のホームページなどとリンクする予定であることが伝えられた。

なお、この新ホームページに関連して、新たにパソコンなどの機材を調達したため、資質確保対策費を充てたとの報告もあった。

田尻副会長の閉会の言葉で役員会を終了。

このあと、中川幸則氏の厚生労働大臣表彰受彰祝賀会を挙行。小畠会長の祝辞、中川氏の謝辞が順次行われたあと祝宴に入り、参加者全員で中川氏の厚労相表彰と中田氏の県知事表彰を祝った。